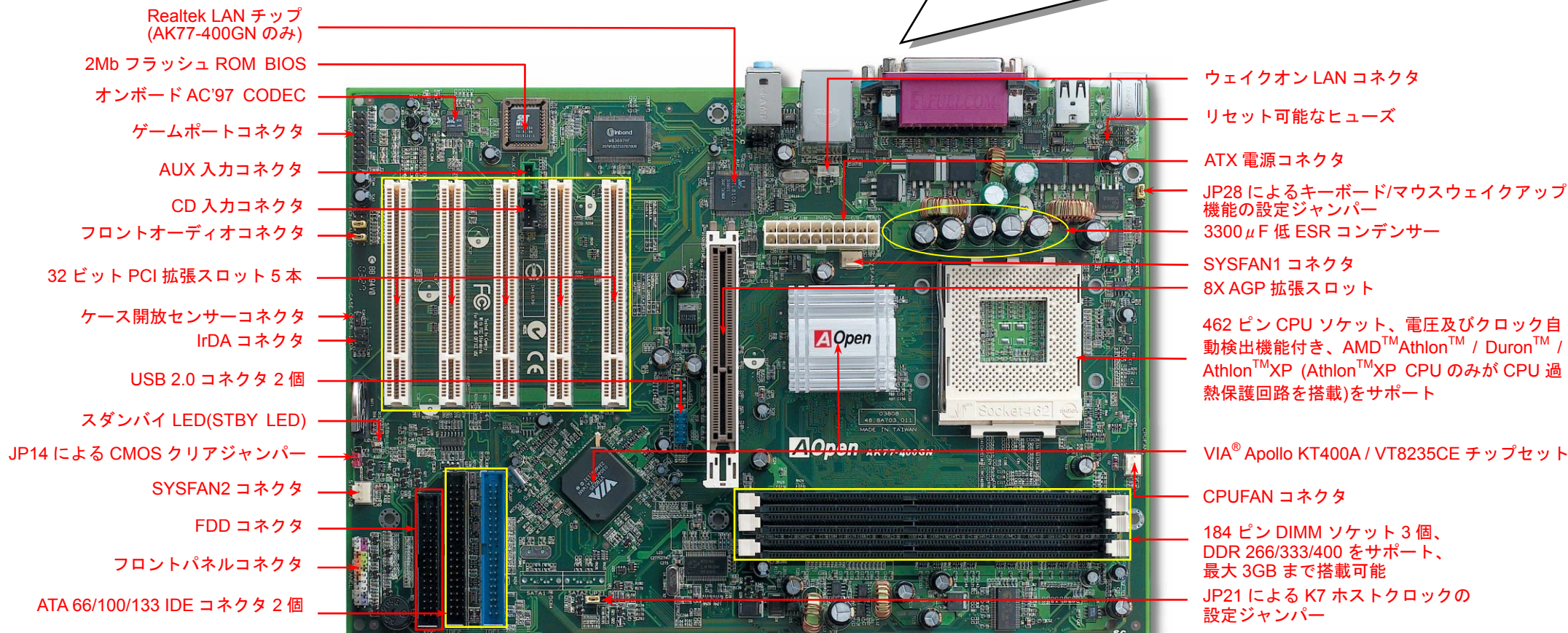
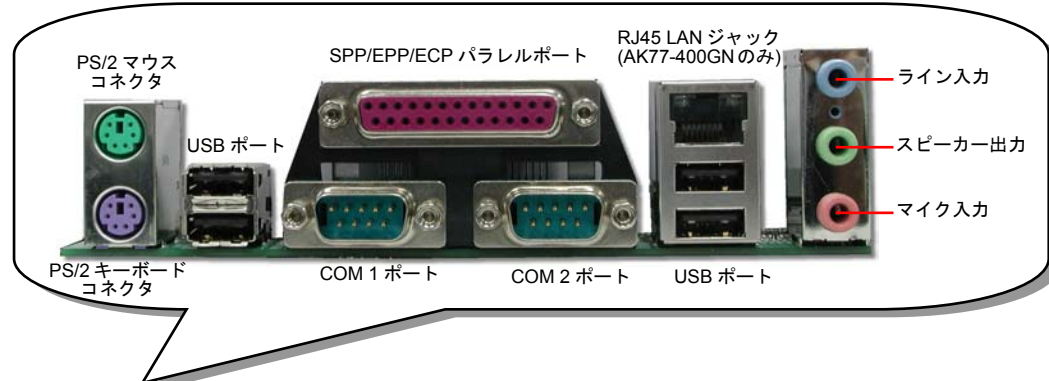


AK77-400G AK77-400GN



インストールの準備



このマザーボードをインストールするのに必要な情報は全てこのイージーインストールガイドに載せられています。さらに詳細な情報についてはオンラインユーザーズマニュアルか Bonus Pack CD ディスクに付属しています。地球保護へのご協力に感謝いたします。

付属品のチェックリスト

- ☒ マザーボード1 枚
- ☒ イージーインストールガイド 1 部
- ☒ 80 芯線 IDE ケーブル 1 本
- ☒ フロッピードライブケーブル 1 本
- ☒ IO シールド 1 枚
- ☒ Bonus Pack CD ディスク 1 枚

8x AGP8X

ATA133

EzClock

Watch DOG ABS

Flash EzWin

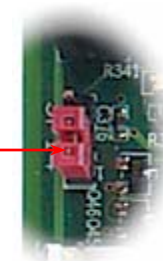
Vivid Vivid BIOS

DOC. NO: AK77400GN-EG-E0312C

1. JP14 による CMOS クリア

CMOS をクリアする事でシステムの初期値設定に戻ることができます。CMOS のクリア手順は下記の通りです。

1. システムの電源を切り、AC パワーコードを抜きます。
2. コネクタ PWR2 から ATX 電源ケーブルを取り外します。
3. JP14 の位置を確認し、2-3 番ピンを数秒間ショートさせます。
4. 1-2 番ピンをショートして JP14 を通常の設定に戻します。
5. ATX 電源ケーブルをコネクタ PWR2 に差し戻します。



1 番ピン



正常動作の場合
(初期値)



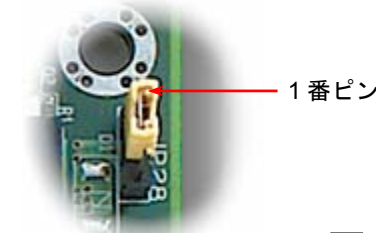
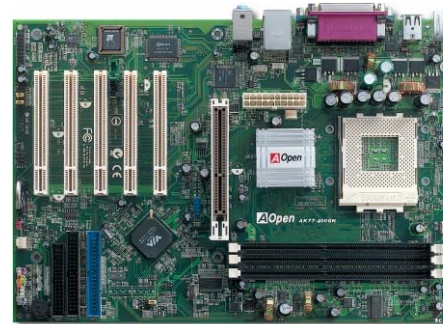
CMOS クリア
の場合

ヒント: CMOS クリアはどんな時に必要?

1. オーバークロック時の起動失敗...
2. パスワードを忘れた...
3. トラブルシューティング...

2. JP28 キーボード/マウスウェイクアップ機能の設定ジャンパー

当マザーボードにはキーボード/マウスウェイクアップ機能が備わっています。ジャンパー JP28 により、マザーボードに接続されたキーボードやマウス操作によりシステムがサスペンドモードからリジュームする機能のオン・オフが可能です。工場出荷時のデフォルト設定では“オフ”(1-2)になっており、ジャンパーを 2-3 に設定するとこの機能がオンになります。



1 番ピン

JP28 によるキーボード/
マウスウェイクアップ
機能の設定ジャンパー



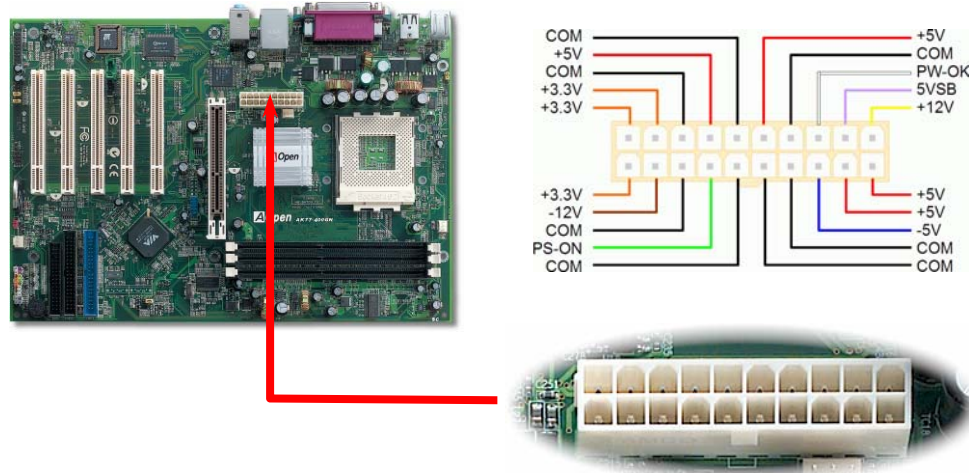
オフ
(デフォルト)



オン

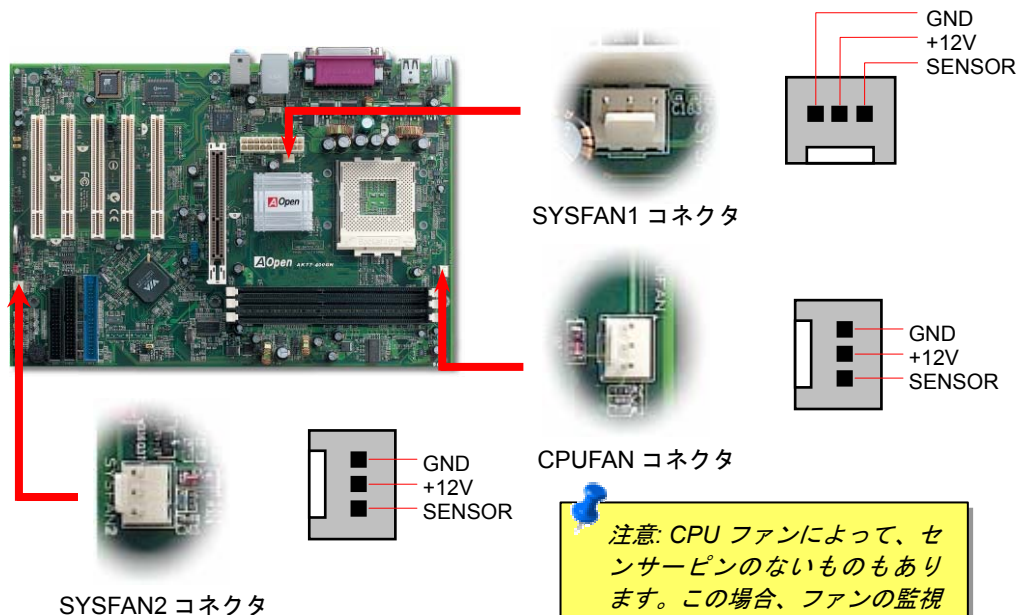
3. ATX 電源コネクタの接続

下図のように、このマザーボードには20ピンATX電源コネクタが1個装備されています。差し込む際は向きにご注意ください。



4. CPU 及びシステムファンのインストール

CPU ファンのケーブルは3ピンのCPUFANコネクタに差し込みます。筐体ファンを使用される場合は、ケーブルをSYSFAN1またはSYSFAN2コネクタに差し込むことも可能です。



CPUFAN コネクタ

SYSFAN1 コネクタ

SYSFAN2 コネクタ

注意: CPU ファンによって、センサーピンのないものもあります。この場合、ファンの監視機能は使用できません。

5. CPU 電圧及びクロックの設定

CPU コア電圧の自動検出

当マザーボードはCPU VID 機能をサポートしています。CPU コア電圧は1.1V から1.85Vの範囲で自動検出されますので、CPU コア電圧を設定する必要はありません。

CPU クロックの設定

このマザーボードはCPU ジャンパーレス設計ですので、CPU クロックはBIOS セットアップから設定でき、ジャンパースイッチ類は不要です。

BIOS セットアップ > クロック/電圧コントロール > CPU スピード設定

コアクロック = CPU FSB クロック * CPU レシオ

CPUレシオ	5x から 18x まで 0.5x 単位で
CPU FSB	100-191MHz

CPU	CPUコア クロック	EV6バス クロック	レシオ
Athlon 1.33G	1.33GHz	266MHz	10.0x
Athlon 1.4G	1.4GHz	266MHz	10.5x
AthlonXP 1500+	1.3GHz	266MHz	10.0x
AthlonXP 1600+	1.4GHz	266MHz	10.5x
AthlonXP 1700+	1.46GHz	266MHz	11.0x
AthlonXP 1800+	1.53GHz	266MHz	11.5x
AthlonXP 1900+	1.6GHz	266MHz	12.0x
AthlonXP 2000+	1.667GHz	266MHz	12.5x
AthlonXP 2100+	1.73GHz	266MHz	13x
AthlonXP 2200+	1.80GHz	266MHz	13.5x
AthlonXP 2400+	2.0GHz	266MHz	15x
AthlonXP2500+ (Barton)	1.833GHz	333MHz	11x
AthlonXP 2600+	2.13GHz	266MHz	16x
AthlonXP 2600+	2.08GHz	333MHz	12.5x
AthlonXP 2700+	2.16GHz	333MHz	13x
AthlonXP 2600+ (Barton)	1.917GHz	333MHz	11.5x
AthlonXP 2800+ (Barton)	2.083GHz	333MHz	12.5x
AthlonXP 3000+ (Barton)	2.167GHz	333MHz	13x

注意: CPUの速度が目覚しく向上しているため、当インストールガイドをご覧になる時に既に最速のCPUが市場に出回っているかもしれません。この表はあくまでも参考用のみです。

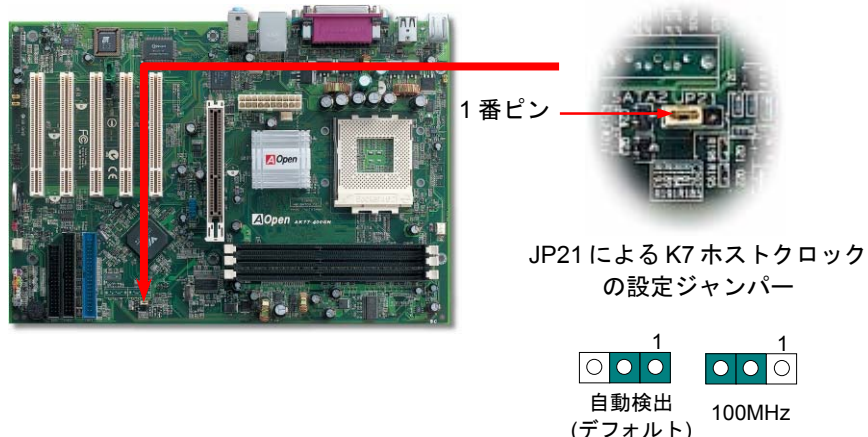
ヒント:オーバークロックにより、システム起動に失敗してフリーズした場合は、<Home>キーを押すだけでデフォルト設定に戻りますし、5秒待ってAOpen「ウォッチドッグABS」がシステムをリセットしハードウェアが再度自動検出されるようにもできます。

警告: 使用中のプロセッサのCPUレシオを設定した後、新しいプロセッサに取り替える場合に、古い設定を引続き応用することを防ぐために、<Home>キーを押したり、またはCMOSをクリアしてデフォルト設定を保存してください。

警告: VIA® KT400A チップセットは200/266/333MHz FSB (最大333MHz EV6 システムバス) と66MHz AGP クロックをサポートしていますが、より高速のクロック設定はシステムに重大な損傷を与える可能性があります。

6. JP21 による K7 ホストクロックの設定ジャンパー

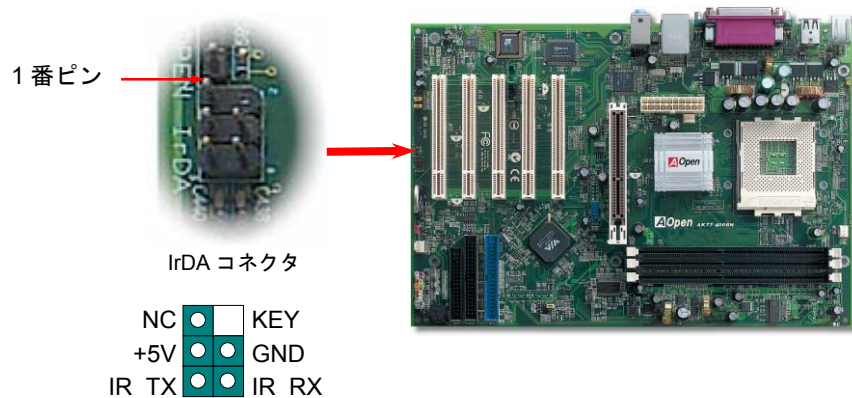
このジャンパーは PCI と FSB クロックの関係を特定するのに使用されます。一般的に言えば、オーバークロックマニアでない場合に、デフォルト設定のままで変更を行わないでください。また、当マザーボードはオーバークロック用の「1MHz 単位での調整機能」を提供し、BIOS 設定から CPU FSB クロックを調整することができます。JP21 によって CPU FSB クロックを設定した場合、「1MHz ステップ調節機能」の範囲は、ご使用の CPU の種類によって変動します。



7. IrDA コネクタの接続

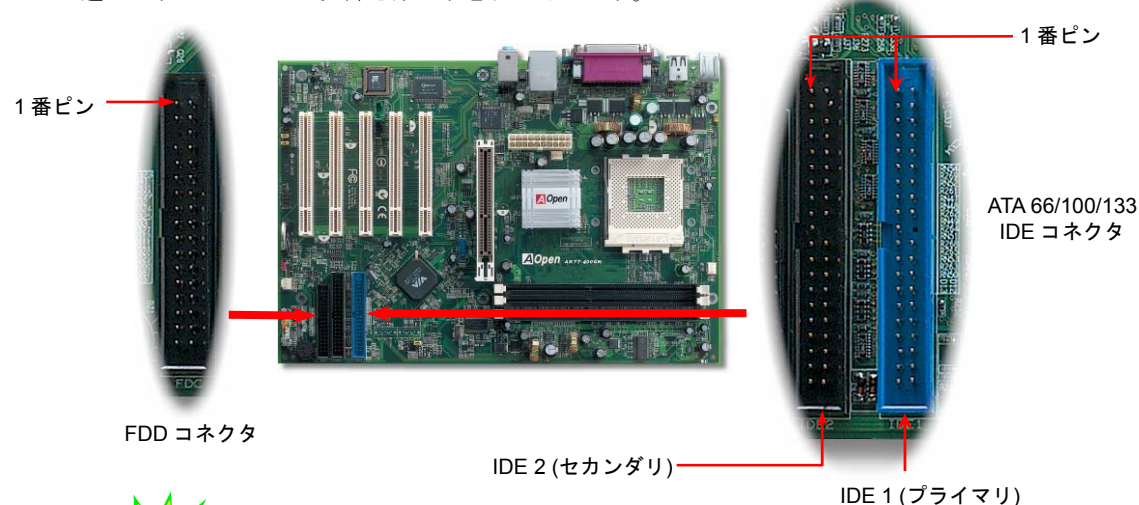
IrDA コネクタはワイヤレス赤外線モジュールの設定後、Laplink や Windows95 Direct Cable Connection 等のアプリケーションソフトウェアと併用することで、ユーザーのラップトップ、ノートブック、PDA デバイス、プリンタ間でのデータ通信をサポートします。

このコネクタは HPSIR (115.2Kbps, 2m 以内)および ASK-IR (56Kbps)をサポートします。IrDA コネクタに赤外線モジュールを差し込んで、BIOS セットアップの UART モードで正しく設定してください。IrDA コネクタを差す際は方向にご注意ください。



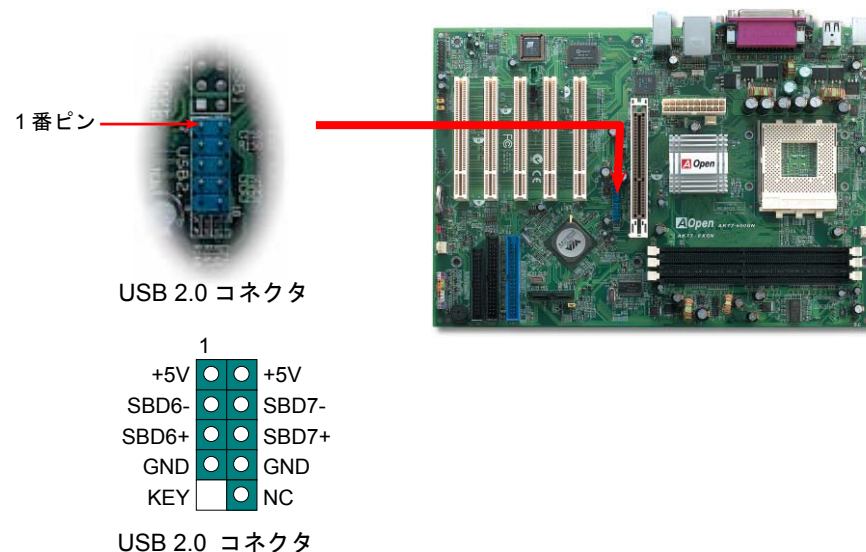
8. IDE 及びフロッピーケーブルの接続

34 ピンフロッピーケーブル及び 40 ピン 80 芯線 IDE ケーブルをそれぞれフロッピーコネクタ FDD 及び IDE コネクタに接続してください。1 番ピンの向きにご注意ください。間違えますとシステムに支障を来す恐れがあります。



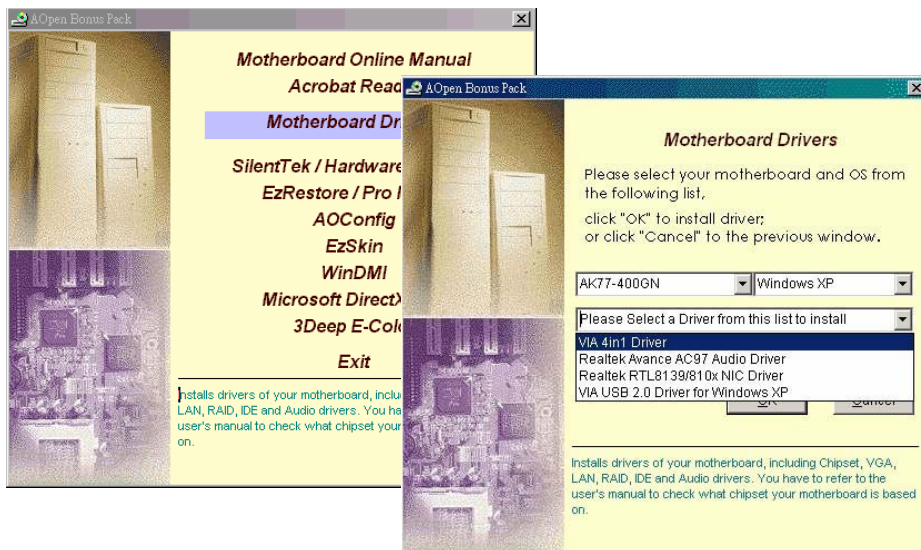
9. 6 個の USB2.0 コネクタをサポート

このマザーボードは6個のUSB2.0コネクタを提供しています。従来のUSB 1.0/1.1規格では最大12Mbpsの転送となりますが、USB 2.0規格の転送速度はその40倍であり、最大480Mbpsの転送レートを実現しています。



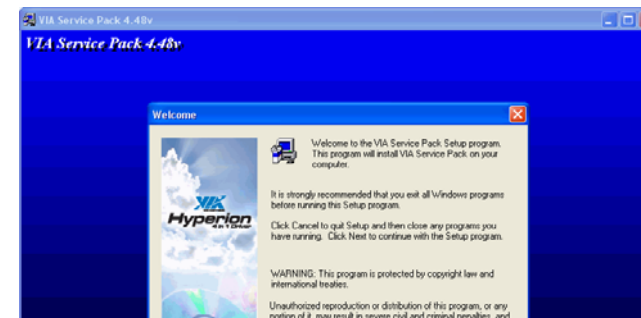
14. AOpen Bonus Pack CD

Bonus CD ディスクのオートラン機能を利用できます。ユーティリティとドライバを指定し、モデル名を選んでください。



16. VIA 4in1 ドライバのインストール

Bonus Pack CD ディスクのオートランメニューから、VIA 4 in 1 ドライバ(IDE Bus master (Windows NT 用)、VIA ATAPI ベンダーサポートドライバ、VIA AGP、IRQ 経路指定ドライバ(Windows 98 用)、VIA 登録(INF)ドライバ)をインストールできます。



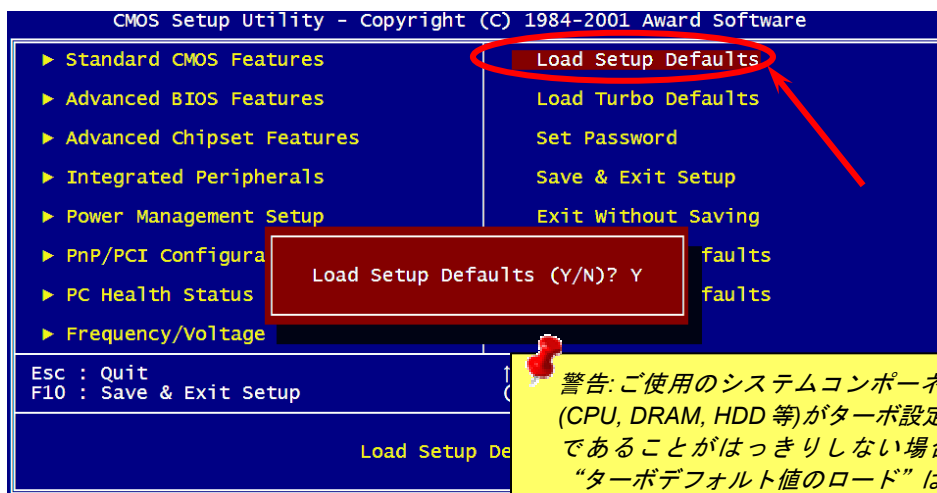
警告: ATA133 を利用するため、Bonus CD から最新バージョンの VIA 4in1 ドライバをインストールする必要があります。

Windows2000 をご使用の場合、最新バージョンの VIA 4in1 ドライバをインストールしても ATA133 機能が使えません。Microsoft からサービスパック3 を新しくリリースされてから機能できるようになります。

15. 電源投入及びBIOS セットアップのロード

Del

ジャンパー設定およびケーブル接続が正しく行われたら、システムに電源を入れて、POST (電源投入時の自己診断) 実行中にキーを押すと、BIOS セットアップに入ります。最適なパフォーマンスを実現するには"Load Setup Defaults (デフォルト値のロード)"を選択してください。



警告: ご使用のシステムコンポーネント (CPU, DRAM, HDD 等) がターボ設定可能であることがはっきりしない場合は、"ターボデフォルト値のロード" は使用しないでください。

NEW!

17. Windows 環境における BIOS のアップグレード

下記の手順に従って、EzWinFlash で BIOS のアップグレードを完了してください。アップグレードを開始する前に、必ず全てのアプリケーションを終了してください。

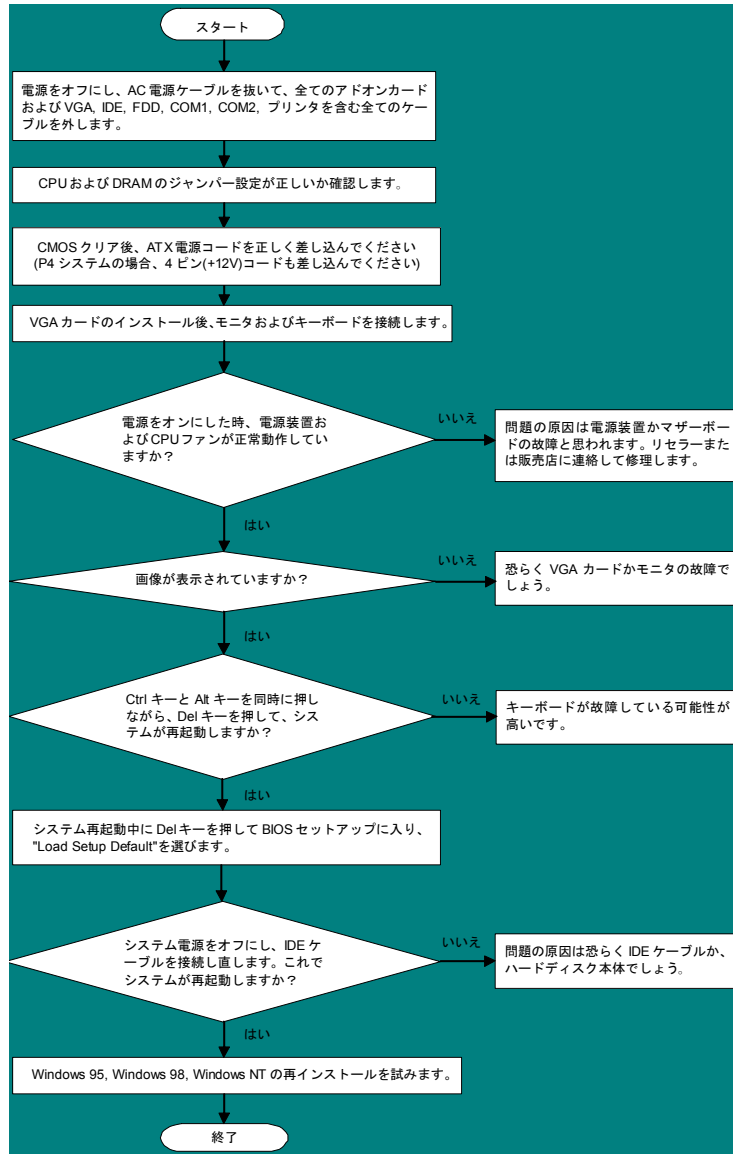
1. AOpen の公式ウェブサイト (<http://aopen.co.jp/>) から最新の BIOS パッケージ zip ファイルをダウンロードします。
2. Windows において、WinZip (<http://www.winzip.com>) で BIOS パッケージ (例えば、WAK77400GN102.ZIP) を解凍します。
3. 解凍したファイルをフォルダに保存します。たとえば、WAK77400GN102.EXE 及び WAK77400GN102.BIN. です。
4. WAK77400GN102.EXE をダブルクリックしたら、EzWinFlash はご使用のマザーボードのモデルネーム及び BIOS バージョンを検出します。BIOS が間違ったら、フラッシュ操作を続行することはできません。
5. 主要メニューから言語の指定を行い、「フラッシュ開始」をクリックしたら BIOS アップグレード作業が始まります。
6. EzWinFlash はアップグレード作業を自動的に完了します。完了後、ポップアップダイアログボックスからコンピュータを再起動するよう聞いてきますので、「はい」をクリックして Windows を再起動します。
7. POST 時にキーを押して BIOS セットアップを起動します。"Load Setup Defaults"を選び、「Save & Exit Setup (保存して終了)」します。これで完了です。

警告: 新しい BIOS のアップグレードにより、フラッシュ後に前の BIOS の内容は完全に置き換えられます。前の BIOS 設定及び Win2000/WinXP プラグアンドプレイ情報は更新されますので、システムを再構築する必要があります。



トラブルシューティング

システム起動時に何らかの問題が生じた場合は、以下の手順で問題を解決してください。



パーツナンバー及びシリアルナンバー

パーツナンバー及びシリアルナンバーがバーコードラベルに印刷されています。バーコードラベルは包装の外側、PCBのコンポーネント側にあります。以下は一例です。



P/N: 91.88110.201 がパーツナンバーで、S/N: 91949378KN73 がシリアルナンバーです。

モデルネーム及びBIOSバージョン

モデルネーム及びBIOSバージョンがシステム起動時の画面 (POST 画面)の左上に表示されます。以下は一例です。



AK77-400GNがマザーボードのモデルネームで、R1.00がBIOSバージョンです。



テクニカルサポート

お客様各位へ

この度は、AOpen 製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。お客様への最善かつ迅速なサービスが弊社の最優先するところでございます。しかしながら、毎日世界中から E メール及び電話での問い合わせが無数であり、全ての方に遅れずにサービスをご提供いたすことは極めて困難でございます。弊社にご連絡になる前に、まず下記の手順で必要な解決法をご確認になることをお勧めいたします。皆様のご協力で、より多くのお客様に最善のサービスをご提供していただけます。

皆様のご理解に深く感謝を申し上げます!

AOpen テクニカルサポートチーム一同

太平洋地域

AOpen Inc.

Tel: 886-2-3789-5888

Fax: 886-2-3789-5899

ヨーロッパ

AOpen Computer b.v.

Tel: 31-73-645-9516

Fax: 31-73-645-9604

中国

艾爾鵬國際貿易(上海)有限公司

Tel: 86-21-6225-8622

Fax: 86-21-6225-7926

アメリカ

AOpen America Inc.

Tel: 1-408-232-1200

Fax: 1-408-232-1280

ドイツ

AOpen Computer GmbH.

Tel: 49-2131-1243-710

Fax: 49-2131-1243-999

日本

AOpen Japan Inc.

Tel: 81-048-290-1800

Fax: 81-048-290-1820

ウェブサイト: www.aopen.co.jp

電子メール: 下記の連絡フォームをご利用になり、メールでご連絡ください。

英語 <http://english.aopen.com.tw/tech/default.htm>

日本語 <http://www.aopen.co.jp/tech/default.htm>

中国語 <http://www.aopen.com.tw/tech/default.htm>

ドイツ語 <http://www.aopencom.de/tech/default.htm>

簡体字中国語 <http://www.aopen.com.cn/tech/default.htm>

